

訳26 ちようとそのとき、白い鳥で、
口ばしと脚（あし）が赤い、鳴
（しび）ほどの大きさである鳥
が、水の上で遊びながら魚を食
べている。

訳27 京では見かけない鳥なので、居
合わせた人はだれも見知らない。
訳28 渡し守に尋ねたところ、「これ
が都鳥だ。」と言うのを聞いて、
訳29 名（な）にし負（お）はば
（都鳥という）名を

背負っているなら

いざ言（こと）問（と）はむ

さあ尋ねよう、

都鳥（みやこどり）

都鳥

わが思ふ人は

私が恋しく思う人は

ありやなしやと

無事かどうかと

訳30 と詠んだので、舟の中の人はず
ろって泣いてしまった。

問一 渡し守に尋ねたのはいつか？

ア 舟に乗る前 イ 舟に乗った後

訳29名(な)にし負(お)はば

(都鳥という)名を

背負っているなら

いざ言(こと)問(と)はむ

さあ尋ねよう、

都鳥(みやこどり)

都鳥

わが思ふ人は

私が恋しく思う人は

ありやなしやと

無事かどうかと

問二

「都鳥という名を背負っているなら」と「さあ尋ねよう」の間に入る言葉は次のどれか。

ア恋愛には詳しいだろうから

イ都のことには詳しいだろうから

ウ私たちの都を思う気持ちがわかる
だろうから

問三

この歌の中の言葉をもとにつ
けられた橋の名は？

なりひら

こととい

あずま

ア業平橋

イ言問橋

ウ吾妻橋

ここは空白ページです